

## 藤原地域出土の荷札木簡 補遺

はじめに 2006年3月に『評制下荷札木簡集成』を刊行した際、ほぼ確実に評制下といえる荷札木簡に限定して集成したため、郡制下のものと区別しがたい藤原地域出土木簡の事例は割愛した。この小論では、そうした事例のうち、2005年度以前の奈良文化財研究所による発掘調査出土の荷札に限って、出土遺構・調査次数別に再調査した結果を記しておきたい。また再調査の過程で、評制下の荷札木簡も若干みいだしたので、あわせて報告する。なお、出土する木簡は完形のものは少なく、内容的に荷札とみてよいか判断に悩むものも多い。ここでは荷札の可能性があるものは極力取り上げるようにしたが、遗漏もあるものと思われ、ご批正をお願いしたい。

**SD1903 (18次)～SD2300 (24次)** 一部は拙稿「藤原宮出土荷札木簡補遺」(『紀要2006』)で取り上げたので、未報告のものに限って述べる。1は上端折れ。品目は記さないが、「三斗」から塩と推定される(5・10・11も同様)。2は四周すべてに二次的加工。4は下端折れ。「刀加里」は『和名抄』安房国安房郡利鹿郷に該当しよう(以下、地名比定は基本的に『和名抄』による)。5は右辺やや割れ。7は下端折れ。裏面は「尾」の下に文字は続かない。8はほぼ完形。9は左辺二次的割截。進上木簡という方が妥当かもしれない。10は完形。「文之」(「文」は「久」の可能性もある)は無姓の個人名か。12は右辺二次的割截。13は上端折れ、左辺二次的割截。15は下端折れ、左辺割れ。16は上端折れ、左辺割れ。21は完形。上端は切断の上、裏側を面取りする。人名のみを記載する(33・85・98も同様)。22は上端折れ、左辺二次的割截。23は上下両端折れ。隠岐国の荷札であろう。24は上端折れ、左辺二次的割截。28は完形。29は下端折れ。地名を書かず、人名を2名記した珍しい事例。30は上端折れ、右辺やや割れ。塩を2斗貢進するのは評制下の荷札に多い。31は上端折れ、左辺割れ。32は左辺二次的割截。33はほぼ完形。34は下端折れ。35は上端折れ。36は下端折れ、右辺割れ。上部には二次的穿孔がある。37は左辺やや割れ。

**SD170 (27次)** 39は上下両端折れ、左右両辺二次的割截。年号が冒頭に記載されており、評制下の荷札木簡である可能性が高いが、「大宝三年十一月十二日御野国榆

皮十斤」(『藤原宮木簡1』161)という事例もあり、断定はできない。40は下端折れ。左辺は二次的割截か。同じ調査で備前国大伯郡の木簡が他に2点出土している。41は下端折れ。津守連の分布状況から、「津里」は攝津国武庫郡津門郷に該当しよう。「務庫水門」「武庫水門」に関係する地名である。42は完形。「錦ア里」は河内国錦部郷に該当しよう。薦の荷札か。「身人ア」は六人部。「枚」は「牧」の字体(50・101も同様)。43はほぼ完形。地名部分は損傷する。44は上端折れ。2文字目は「知」の可能性がある。45は四周欠損。「荒堅魚」と続こう。46は右辺二次的割截。字配りから、上半部は中央1行、下半部は2行割書とみられる。杉材であり、隠岐国荷札の可能性が高い。47はほぼ完形。下端は少し尖るため033型式としたが、端部は左に大きく偏り、実質的には032型式である。畿内貢進の薦荷札であろう。48は上下両端折れ。なお、「三尺六寸一枚」の語の確認される荷札木簡があるが(『藤原木簡概報5』12頁上)、郡里制下のものであることが確かめられた。

**SD170 (29次)** 49はほぼ完形であるが、切り込みが上端ギリギリにまで迫る。品目は書かれていないが、薦の可能性が高い。「之」は「戸」の可能性もある。「阿那之」は穴師のことか。50は右辺二次的割截。「日下里」は河内国川内郡に関係しよう。本郡には大戸郷が存在する。51は完形で、下端表側には切断時のアタリが残る。52は完形で、平面に対して厚みがかなりある。「飯野」は伊勢国飯野郡に関係しよう。53は下端折れ。「塔志里」は藤原宮期には志摩国志摩(嶋)郡に属した。54・55は下端折れ。左辺は二次的割截か。56は下端折れ、左右両辺は二次的割截か。57は完形。裏面3文字目は「里」の可能性がある。「久米」の次は「評」もしくは「郡」を省略している。58は上下2片接続。左右両辺は二次的割截か。別筆「二」はやや肉太。駿河国賀茂郡の荷札であろう。59は真ん中で二次的に割截し、左右2片に分離する。材の中央に小さく細筆で記す。丁寧な記載であり、贅に関わるか。60は下端折れ。左右両辺は二次的割截か。2文字目の「服」は旁が「衣」の字体。「申服」は「神服」の可能性もある。61は上端折れ。上半部は腐蝕が甚だしいが、書式・サト名・人名から若狭国遠敷郡の荷札と推定される。62は下端折れ、左辺二次的割截。「熊来里」は『和名抄』には能登国能登郡、參河国幡豆郡がみえる。「水母」

(クラゲ)と続くか。63は下端折れ。64は下端折れ、左右両辺二次的割截。4・5文字目は木簡概報に従って2行割書としたが、1行の可能性もある。65は下端折れ、右辺二次的割截。66は下端折れ、左辺二次的割截。裏面の左行は削り残りか。67は荷札木簡に二次的整形を加えたもので、下端は切断の上、表裏を面取りし、裏面の上半部を斜め方向に削る。「入ア里」は壬生里のことか。68は上下2片接続でほぼ完形。「八連」は鰐の単位とみられ、これを手がかりに、2文字目は「方」、4文字目は「矢」と推定釈読でき、伊豆国田方郡の荷札となる。69は四周欠損し、腐蝕が甚だしい。70は上下両端折れ、左右両辺二次的割截。71は完形。摂津国もしくは河内国の荷札であろう。72も完形。「上鳥羽」は山城国紀伊郡鳥羽郷に關係しよう。なお同時期の荷札として、奈良県の調査で「下鳥羽處」が出土している（奈良県教育委員会『藤原宮』56号木簡）。73は上端折れ。全体に腐蝕が甚だしい。74は上端に整形時の切断痕跡が残るが、緩やかな圭頭形に整形しており、原形をほぼ保つとみてよい。木簡概報は059型式とするが、033型式が正しい。「津里」は41にもみえる。摂津国武庫郡津門郷の他、備後国沼隈郡津宇郷が候補地として考えられる。75は上下2片接続でほぼ完形。「大」の上は「嶋」の可能性がある。参河国幡豆郡の荷札か。76は左右両辺を二次的に割截した上で、下端を鋭く削って尖らせる。二次的整形後に上端折れ、左辺やや割れ。77は上下両端折れ。78は上端折れ。「鮑」は右下の残画のみ。79は上下両端折れ。80は上端折れ。「大嶋」の次は「里」字が省略。81は上端を裏面から刃物を入れて二次的に切断。「春」は「春」の字体。82は上端折れ、左右両辺割れ。83は下端折れ、左右両辺やや割れ。84は下端折れ。切り込みは台形で、表裏ともに稜を面取りしており、大変丁寧な作りである。85は上下2片接続で完形。86も完形。貢進荷札ではない可能性もある。裏面は二次習書の可能性がある。87は上端折れ。記録簡の可能性もある。88は上下両端折れ。1文字目は「二」の可能性がある。89は完形。「煮」は魚類の煮物であろう。「物品名+贊」とのみ記す珍しい事例。90は材の中央に2文字記し、以下2行割書となる書式か。荷札としたが、詳細は不明。「評」はコホリ氏であろう。91は上端折れ。92は上端は切り込み部で折れ。下端折れ。右辺は二次的割截か。93は右辺二次的割截。1文字目は人偏、2文字目

は示偏、3文字目は三水の文字。94は上下2片接続。上端折れ、右辺割れ。

以上、藤原宮東面北門付近の27次・29次調査のSD170出土の木簡を概観したが、左辺もしくは右辺を二次的に割截した荷札がとくに目立っている。荷札木簡はそのまま廃棄される事例がやや多いだけに、注目に値する。

**SD2300 (27次)** 95は完形。「水内」は氏族名か。96は上端折れ。上半部は腐蝕する。隱岐国の荷札であろう。評制下の一般的な隱岐国荷札に比べて大きいので、郡制下の可能性がやや高い。97は下端折れ。左辺は二次的割截か。2文字目は字配りから「方」とみられる。

**SD105 (58次)** 98は完形。上部には穿孔があり、そこに木材を詰める。貢進荷札ではない可能性もある。99は下端に刃物を入れて二次的に切断する。「坂越里」は播磨国赤穂郡坂越郷に該当しよう。100はほぼ完形。上下両端および切り込み部も面取りするなど、丁寧な作りである。101もほぼ完形。

**SK7641 (67次)** 102は上端折れ、左辺割れ。「庵加里」は隱岐国周吉郡庵可郷に該当しよう。103は上端折れ。現状の下半部は余白で、長大な荷札とみられる。数量の次に物品名を記す珍しい事例。

**SD2300 (75-13次)** 104は下端折れ。「県主里」は「備中國後月郡県主郷に該当しよう。

**SD4130 (47次)** 105は下端折れ。

**SG501 (115次)** 106は完形。塩を貢進している点、大伴部が分布する地域である点から、志摩国荷札木簡か。107は四周欠損。108は完形。塩の荷札であろう。「大加ア」は大鹿部。伊勢国川曲郡に大鹿三宅神社、参河国渥美郡に大壁郷があり、伊勢湾近辺の荷札と推定される。

**評制下の荷札木簡** 109~111は藤原宮造営期の溝SD1901A出土で、評制下の可能性が高い。109は上端折れ。志摩国荷札か。110は若狭国荷札か。111は下端折れ。3

・4文字目は新たに「里人」と釈読できた。112・113はSD170出土。112は厚さ10mmに及ぶ荷札で、左右両辺を二次的割截。上端折れ。上から3文字目は言偏が確認できるため、「郡」ではなく「評」と判断した。「大井里」は備中國賀夜郡大井郷に該当しよう。また木簡概報には示していないが、裏面にも2文字分の墨痕が確認できる。113は完形。表面3文字目が新たに「評」と釈読できた。

「栗田布西臣」は複姓であろう。

(市 大樹)

【語】「蔵」は「蔵廐宮木簡」の略である。

藤原地域出土荷札木簡

上杭一九〇三（一八次）

- |                      |               |                     |
|----------------------|---------------|---------------------|
| 1. 鳴ア                | 外濠SD-四五 (一八次) | 14. 阿由一斗升           |
| 2. 支斗                |               | 15. 旦波国□            |
| 3. 五升□□              |               | 16. □五升             |
| 4. 五升□□              |               | 17. □里人大伴ア田□□□      |
| 5. □十具               |               | 18. □候里□干           |
| 6. 刀加里人大伴ア黒□         |               | 19. 魚切里人大伴□□□□      |
| 7. 尾治国海部□            |               | 20. □佐一斗五升          |
| 8. 三家里海ア古尔           |               | 21. 占ア尻             |
| 9. 進上年魚大贊            |               | 22. □里人大伴ア加□□□□□    |
| 10. 小嶋里人文之調三斗        |               | 23. □里上ア            |
| 11. 高橋連刀自梨〔調カ〕三斗     |               | 24. □□多比乃□□七        |
| 12. 湯カ里大□□           | 東大溝SD-〇五 (四次) | 25. □□□白髮口□         |
| 13. 〔斗カ〕斗□□□□□□□     |               | 26. 三川国鳴            |
| 14. 塩                |               | 27. □宮末呂又栗          |
| (177) × (11) × 3 032 |               | 28. 井口SD-一〇五 (五次)   |
| 15. 旦波国□             |               | 29. 大宅水取大□          |
| 16. 檜・板目 藤1-4号       |               | 30. □價塙一斗           |
| (75) × 29 × 5 039    |               | 31. □麻呂塙三斗          |
| 17. 檜・板目 藤1-191号     |               | 32. □□□調荒堅魚         |
| (79) × (13) × 5 051  |               | 33. 田辺史牛麻呂          |
| 18. 檜・板目 藤1-6号       |               | 34. 吉備□             |
| (75) × 29 × 5 039    |               | 35. □建ア君小□赤米        |
| 19. 檜・板目 藤1-195号     |               | 36. □里人□            |
| (79) × (10) × 2 081  |               | 37. 打原里魚潤           |
| 20. 檜・板目 藤1-199号     |               | 38. 綾海高□ア汗乃古一斗      |
| (79) × (10) × 2 081  |               | 39. □□年□備前国大□       |
| 21. 石寸ア安末呂           |               | 40. 備前國□□大伯カ        |
| (109) × (19) × 2 081 |               | 41. 伊豆国田□□          |
| 22. 檜・板目 藤1-496号     |               | 42. 錦ア里身人ア支波        |
| (109) × (16) × 2 039 |               | 43. □□里葛木直□□薦       |
| 23. 檜・板目 藤1-190号     |               | 44. □□里伊委之腊大贊一斗五升   |
| (125) × 25 × 6 039   |               | 45. □麻呂調荒堅□         |
| 24. 檜・板目 藤1-488号     |               | 46. □軍布廿斤           |
| 135 × 17 × 4 031     |               | 47. □□□□□人久目薦       |
| 25. 檜・板目 飛5-11頁      |               | 48. □□里人□春米□□       |
| 42. 依ア奈波手            |               | 49. 山科里阿那之奈西一枚      |
| 43. 檜・板目 藤1-486号     |               | 50. 日下里人大戸首末呂戸諸方薦一枚 |
| 44. 檜・板目 飛5-12頁      |               | 51. 伊勢国木油一斗七升       |
| 45. 檜・板目 飛5-12頁      |               | 52. 飯野贊             |
| 46. 檜・板目 飛5-12頁      |               | 53. 塔志□□□           |
| 47. 檜・板目 未掲載         |               | 54. 伊豆国田□□          |
| 48. 檜・板目 未掲載         |               | 55. 周方国佐波□          |
| 49. 檜・板目 飛5-12頁      |               | 56. 周防国□□           |
| 50. 檜・板目 飛5-11頁      |               | (76) × (4) × 4 081  |
| 51. 檜・板目 飛5-11頁      |               | (76) × (4) × 4 081  |
| 52. 檜・板目 飛6-12頁      |               | (108) × (8) × 2 039 |
| 53. 檜・板目 飛6-13頁      |               | (108) × (8) × 2 039 |
| 54. 檜・板目 飛6-13頁      |               | (108) × (8) × 2 039 |
| 55. 檜・板目 飛6-14頁      |               | (108) × (8) × 2 039 |
| 56. 檜・板目 飛6-14頁      |               | (108) × (8) × 2 039 |